

「真のワーク・ライフ・バランス」を実現する ベスト・プラクティス意見交換会

先進的かつ独創的な取り組み
『ベスト・プラクティス』を
知って職場における実践的な
改善のヒントに。

開催日時：平成24年 3月 9日 (金)
14:00 ~ 17:00
(13:30 より受付開始)

開催場所：ウイングス京都 2F セミナー室B
(京都市中京区 東洞院六角下ル 御射山町 262)

◇ 参加費：無料 ◇ 定員：30名 (先着順)

当日司会：秋山 理二郎 氏
(若者会議U35委員)

京都大学卒業後、テレビ局に入社し、制作局にてバラエティ番組を手がける。その後、株式会社表現へ移り、クリエイティブディレクター・コピーライターとして活躍。自身の就職活動・転職経験を生かし、京都の大学生向けの無料就職支援塾「京都就活塾」を2008年に立ち上げ、塾長に。これまで、京都の有名大学を中心に170名以上の学生の就職を応援。

■ プログラム

- (1) 先進的な取り組み『ベスト・プラクティス』の紹介
(株)一保堂茶舗・河市水産(株)・佐々木化学薬品(株) (株)表現様などさまざまな企業のベスト・プラクティスをご紹介します！
- (2) 意見交換会
ご参加いただいた企業の皆様からご質問をいただきながら、「真のワーク・ライフ・バランスが実現された働きやすい職場づくり」に向けた方策を探る意見交換を行います。

真のワーク・ライフ・バランスへつながる意見交換会

京都市では、『人間らしくいきいきと働き、家庭・地域で心豊かに生活できる「真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都」』が未来像として「はばたけ未来へ!京(みやこ)プラン」(以下「京都市基本計画」)に盛り込まれ、具体的な取り組みを盛り込む「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画が平成23年度内に策定される予定です。そこで、この推進計画に掲げられた取り組みが、京都で働く人々の「真のワーク・ライフ・バランス」の実現につながるものとするため、従業員の方々が働きやすい職場づくりを目指し取り組まれている、京都市内の企業・事業所のみなさんのご意見を伺う、意見交換会です。

主催：未来の担い手・若者会議U35

若者ならではの観点から、平成23年度から10年間の都市経営の基本となる京都市基本計画の策定支援のために、平成21年度に市長より委嘱され、発足した「行動する」審議会。京都にゆかりのある概ね35歳未満の若者37名で構成。「真のワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、具体的な事業の立案に取り組んでいます。

お申し込みはFAXまたはメールにて裏面のお申し込み用紙で！

お申し込み・お問い合わせ

未来の担い手・若者会議U35 事務局
(株)地域計画建築研究所 京都事務所 (担当：浅田・石井)
TEL：075-221-5132 FAX：075-256-1764
MAIL：wlbbestp@wakamonou35.jp

FOR 10 YEARS AFTER
U35
KYOTO

このQRコードを撮影すると
ベスト・プラクティス意見交換会の
連絡先が電話帳に登録されます。



「真のワーク・ライフ・バランス」を実現する ベスト・プラクティス意見交換会 申し込み用紙

FAX : 075-256-1764 MAIL : wlbbestp@wakamonou35.jp

- ◆ FAXにてお申し込みの方は、下記に必要事項を記入し、上記FAX番号までご送信ください。
 - ◆ Eメールにてお申し込みの方は、下記内容を記入し、上記アドレスまでご送信ください。
- ※ FAXでお申し込みの方は、恐れ入りますがお申し込み用紙は1人1枚でお願いいたします。
複数名ご参加の場合はお申し込み用紙をコピーいただき、お申し込みください。

ふりがな 貴社名			
所在地	〒		
ふりがな お名前			
所属・役職			
TEL		FAX	
E-mail			

今、なぜ 「真のワーク・ライフ・バランス」か？

日本全体で少子高齢化が進み、京都市でも財政難が問題となっています。京都市基本計画の策定に協力することになったU35として「真のワーク・ライフ・バランス」という提案を提出し、京都市基本計画の目指す「未来像」に採用されました。これは、通常いわれるワーク・ライフ・バランス（家庭と仕事のバランス）に社会貢献を加えたものです。市民が自分の家庭、仕事だけでなく、「自分なりのやり方」で社会に貢献すること。「限られた財源を前提にしながらも、支え合い、ポジティブに社会をつくってゆく」そのベースとなる「参画する市民」を育て、応援する取り組みが「真のワーク・ライフ・バランス」なのです。

今回の取り組みについて

「真のワーク・ライフ・バランス」を実現するには、多くの市民に働く場を提供している地元企業の協力が外せません。これまで、「真のワーク・ライフ・バランス」を推進するために、先進企業に対する表彰制度やワークライフバランスアドバイザーの派遣など様々な案を検討してきましたが、本当のところどんな制度であれば企業にとって使いやすいのか、また無駄なののはっきり見えているわけではありません。来年度以降、実施段階に移る「真のワーク・ライフ・バランス」施策が企業にとってメリットがあり、成果の出るものとなるよう、ぜひ今回のイベントでは遠慮なく本音をお聞かせいただければと考えています。